

三原市の財政状況

平成 20 年度決算の状況及び平成 21 年度予算の上半期の執行状況について

平成 20 年度の決算の状況

(1) 一般会計決算の状況

歳入合計	435 億 6,874 万円
歳出合計	427 億 4,417 万 4 千円
歳入歳出差引額	8 億 2,456 万 6 千円
翌年度に繰越すべき財源	3 億 3,956 万 1 千円
実質収支	4 億 8,500 万 5 千円
単年度収支	1,229 万 4 千円

(単年度収支とは、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いたものです。)

平成 20 年度の実質収支は、4 億 8,500 万 5 千円の黒字、単年度収支では、1,229 万 4 千円の赤字決算となっています。

歳入決算は、第 1 表のとおり、435 億 6,874 万円で、対前年度比 22 億 7,892 万 9 千円(5.0%)の減です。

市税は、162 億 3,892 万 7 千円で、全体の 37.3%を占め、対前年度比 1.6%増となっています。

市税の増加では、市民税個人分が 1 億 1,927 万 6 千円(2.5%)の増、市民税法人分が 1 億 8,751 万 4 千円(11.5%)の増が主な要因ですが、固定資産税については、669 万 6 千円(0.1%)の減となっています。

地方譲与税は、対前年度比 2,803 万 3 千円(4.4%)の減、6 億 1,217 万 2 千円で、構成比 1.4%です。

地方交付税は、対前年度比 4 億 8,112 万 5 千円(5.8%)の増、88 億 3,765 万 8 千円で、構成比 20.3%です。

このうち、普通交付税は、4 億 7,724 万 8 千円(6.6%)の増、77 億 5,670 万 5 千円で、構成比 17.6%です。

また、特別交付税は、387 万 7 千円(0.4%)の増、10 億 8,095 万 3 千円です。

市債は、文化施設建設事業(芸術文化センターポポロ)の完了により、総務債が 34 億 8,130 万円の減(50.2%)の 4 億 3,370 万円、臨時財政対策債が 6,895 万円の減(1.0%)の 10 億 1,955 万円で、市債総額は前年度に比べて 29 億 505 万円の減の 40 億 3,585 万円となり、構成比 9.3%、対前年度比 41.9%減となっています。

なお、臨時財政対策債を除くと、対前年度比 48.5%減となっています。

歳入決算の財源別構成比でみると第2表のとおり、自主財源は214億5,775万1千円(49.3%)、依存財源は、221億1,098万9千円(50.7%)です。自主財源は、市税、使用料及び手数料、寄附金、諸収入が増となっていますが、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、繰越金が減となり、対前年度比6億7,712万2千円(3.1%)の減となっています。

一方、歳出決算では、第3表のとおり、427億4,417万4千円で対前年度比5.3%の減となっています。

目的別歳出決算の主なものは、福祉関係の民生費で、113億3,043万1千円で全体の26.5%を占め、高齢者福祉、心身障害者福祉、児童福祉等の充実を図りました。また、介護保険特別会計には、10億2,061万3千円、後期高齢者医療特別会計には2億7,274万6千円の繰出しも行いました。

総務費は、53億4,208万6千円で全体の12.5%を占め、5億1,209万2千円で情報基盤整備を行いました。

土木費は、70億7,468万円で全体の16.6%を占めています。この中で、生活関連施設整備を重点的に取り組み、主な事業は、市道新設改良費8億4,852万1千円、街路事業費12億2,133万2千円、橋梁新設改良費3,420万円、まちづくり事業を含む都市施設整備事業費33億5,159万7千円等です。

教育費では、38億6,166万2千円で全体の9.0%を占め、義務教育環境の充実、生涯学習の推進、障害児教育の充実、社会教育の促進等を図りました。

一般会計の決算は実質収支が4億8,500万5千円の黒字となり、歳出において、各種施策の所期の目標を十分達成できたものと受け止めています。

性質別歳出決算では、投資的経費が、28億8,033万7千円(28.6%)の減、71億7,586万1千円(構成比16.8%)です。主な減の要因は、文化施設建設事業35億7,558万6千円の減、こども園建設事業4億6,195万8千円の減などです。一方、主な増の要因は、まちづくり事業(本郷駅前整備)11億6,289万円の増、情報基盤整備事業2億8,191万5千円の増などです。

一方、公債費等の義務的経費のウエイト(50.0%)は依然として高く、今後も引き続いて行財政改革を推進し、効率的な財政運営を行っていく必要があります。

(2) 特別会計決算の状況

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の収入をもって特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合において設置するものです。

特別会計決算（16会計）は、第4表のとおりです。

歳入合計	257億 7,348万 3千円
歳出合計	250億 6,945万 7千円
歳入歳出差引額	7億 402万 6千円
翌年度に繰越すべき財源	6,968万 2千円
実質収支	6億 3,434万 4千円
単年度収支	4億 2,014万 9千円

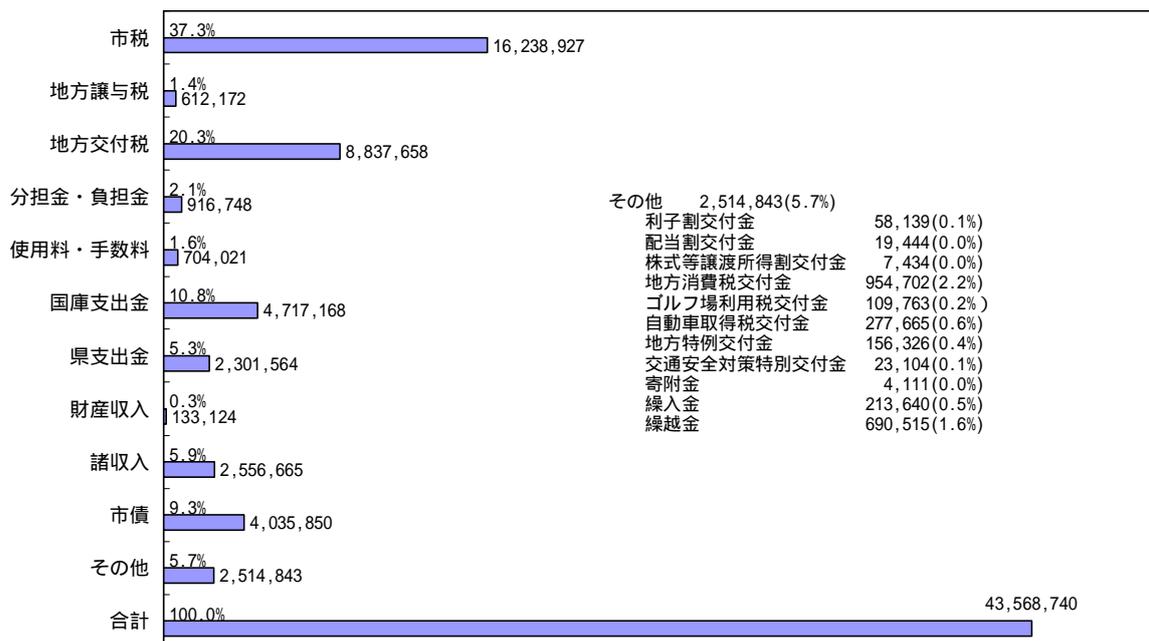
特別会計全体では、実質収支は、6億 3,434万 4千円の黒字、単年度収支は、4億 2,014万 9千円の黒字となっています。

会計別では、国民健康保険（事業勘定）特別会計は、1億 7,916万 8千円の黒字です。

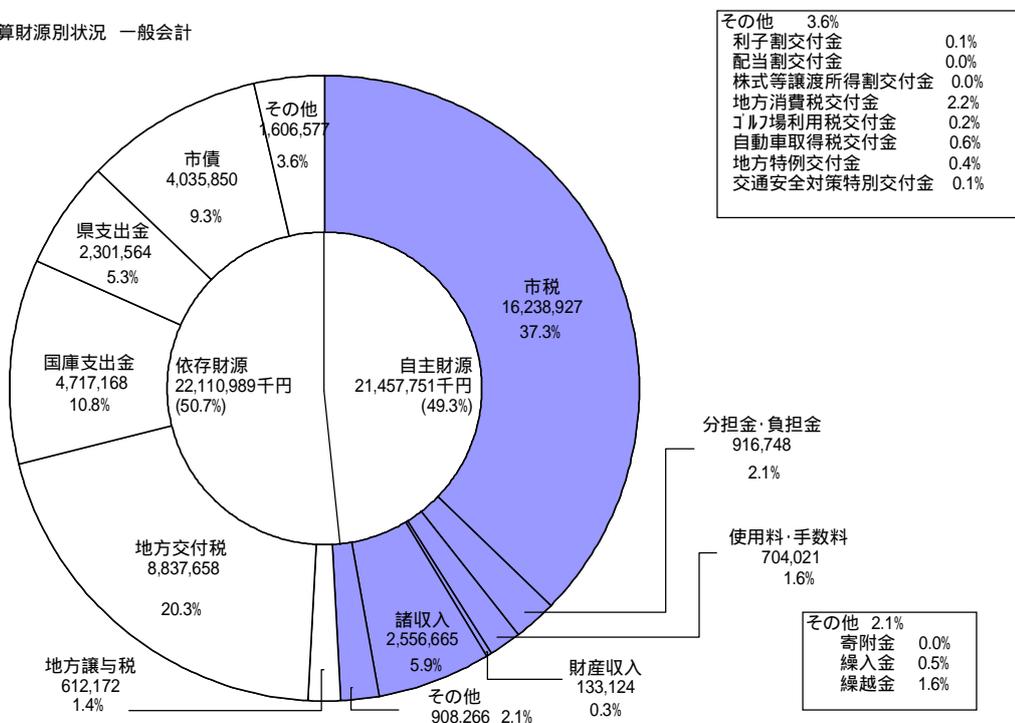
介護保険特別会計は、1億 7,432万 1千円の黒字となり、これは翌年度において介護給付費準備基金への積立てや、交付金等の精算返還金等の財源となる予定です。

第1表 平成20年度 歳入決算状況 一般会計

(単位：千円)



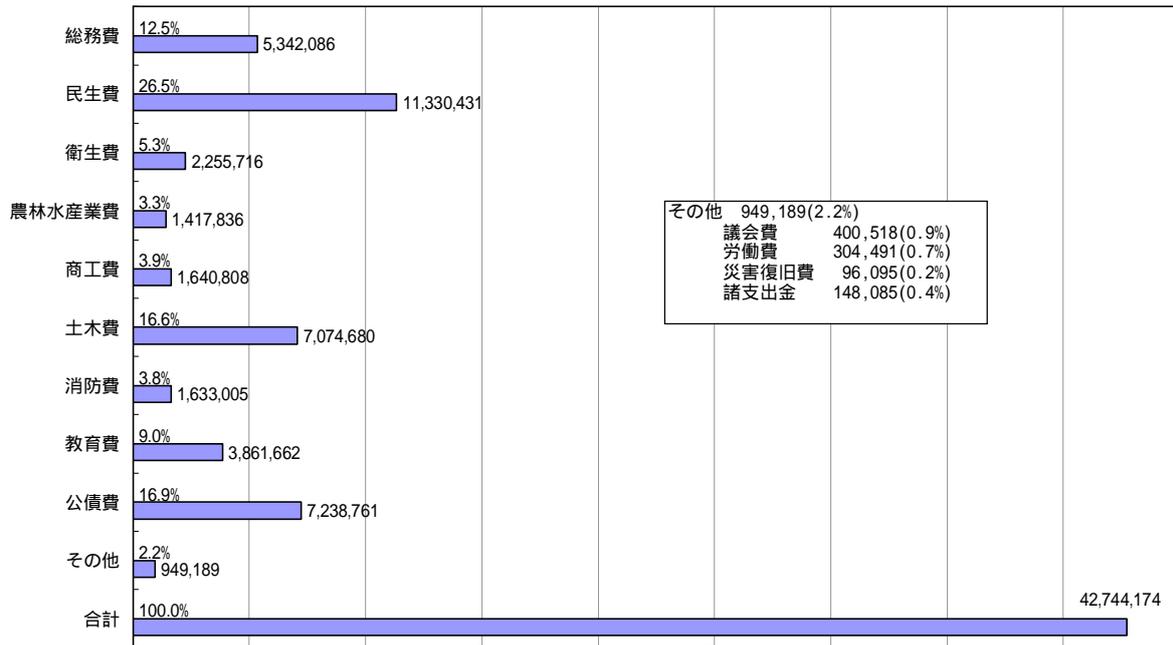
第2表 歳入決算財源別状況 一般会計



第3表 平成20年度歳出決算の状況 一般会計

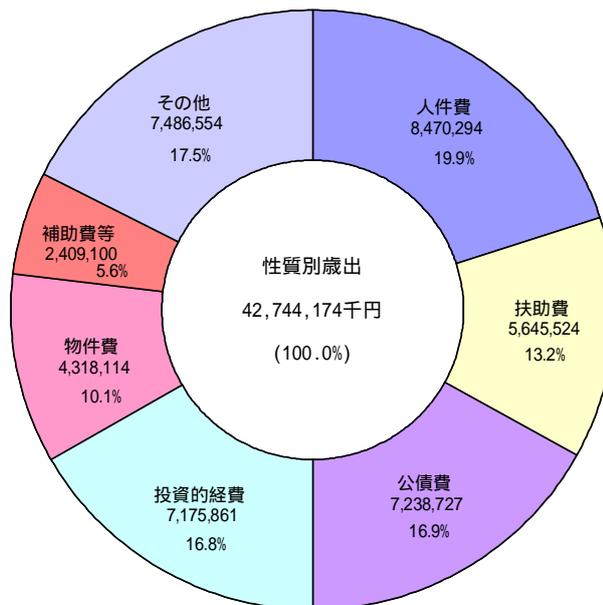
(ア)目的別歳出

(単位：千円)

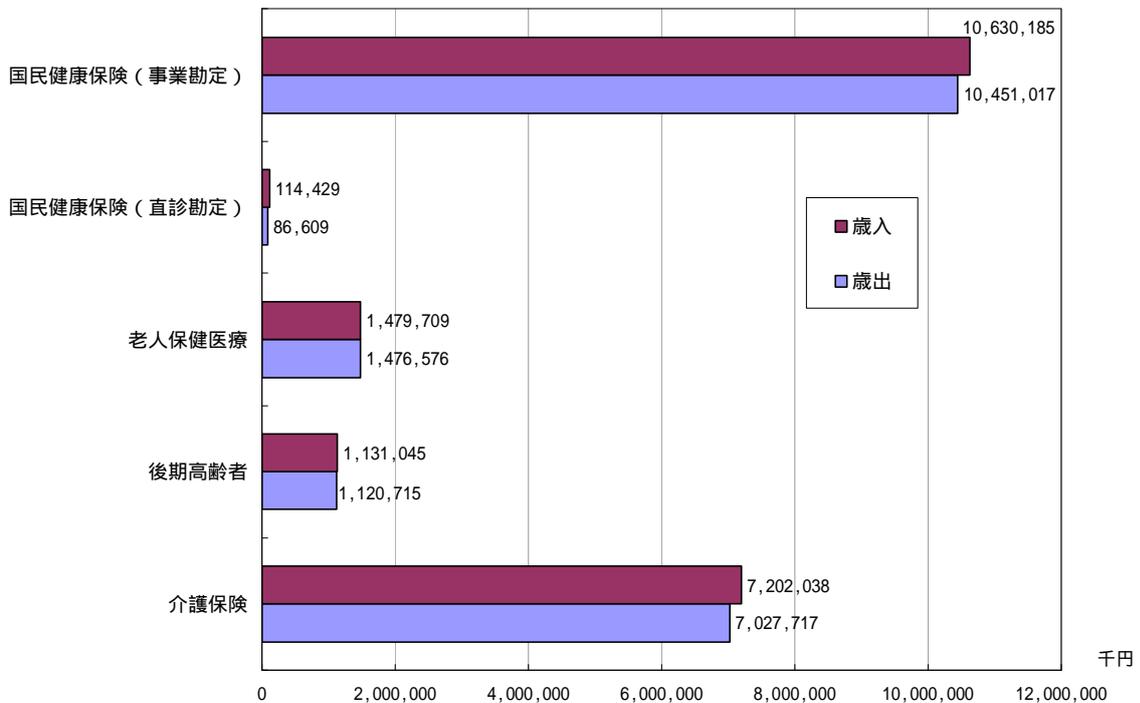
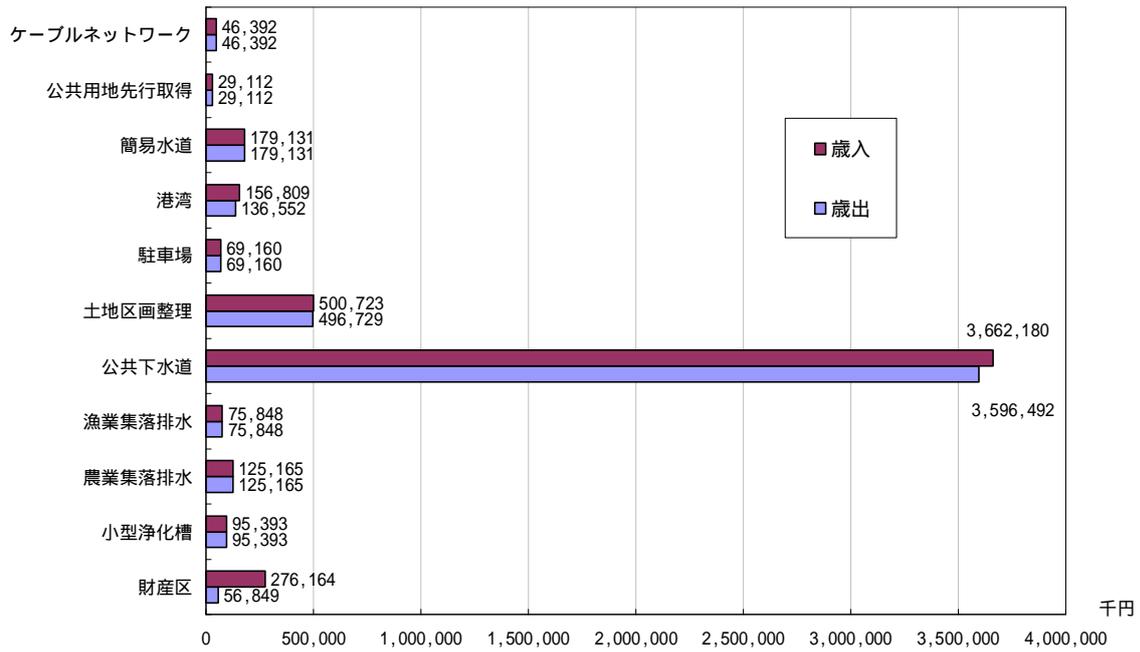


(イ)性質別歳出

その他	7,486,554(17.5%)
維持補修費	642,325(1.5%)
投資・出資・貸付金	1,806,418(4.2%)
積立金	581,494(1.4%)
繰出金	4,456,317(10.4%)



第4表 平成20年度 歳出決算の状況 特別会計



平成 21 年度予算の補正及び執行状況について

(1) 平成 21 年度予算の補正の状況

○ 一般会計

当初予算額では、406 億 100 万円を骨格予算として編成していますが、当初予算成立後に、新たに必要となった事業を厳選して、補正予算を計上しました。また、前年度からの繰越事業費と併せ、9 月末現在の予算総額は 487 億 6,635 万 5 千円となっています。

当初予算額	406 億 100 万 円			
補正予算額	45 億 7,149 万 円		補正予算の内訳	
繰越明許費等	35 億 9,386 万 5 千円		第 1 号	28 億 8,850 万 円
9 月末予算額	487 億 6,635 万 5 千円		第 2 号	14 億 1,590 万 円
			第 3 号	2 億 6,514 万 円
			第 4 号	195 万 円

主な補正予算は、つぎのとおりです。

・電算システム移行費	53,100 千円
・情報基盤整備事業費	61,200 千円
・中心市街地活性化推進事業費	698,411 千円
・農業用施設改良県補助事業費	94,400 千円
・造林事業費	42,000 千円
・漁港改修事業費	92,000 千円
・商工団体育成費	48,550 千円
・地方特定道路整備事業費	70,700 千円
・道路新設改良費	168,400 千円
・都市計画事務費	68,000 千円
・消防施設整備費	128,350 千円
・施設建設費（学校給食施設）	240,550 千円
・耐震補強整備費（幼・小・中）	59,340 千円
・公民館建設事業費	138,500 千円

・施設整備費（白竜湖スポーツ村公園）	105,100 千円
・小規模崩壊地復旧費	83,800 千円
・市債元金償還金	300,000 千円
・地域活性化・経済危機対策事業費	1,123,600 千円
・賦課徴収費	174,317 千円
・子育て応援特別手当事業費	101,500 千円
・住宅手当緊急特別措置事業費	43,320 千円
・現年補助災害復旧費（農林施設）	26,600 千円
・現年補助災害復旧費（土木施設）	41,300 千円
・現年単独災害復旧費（農林施設）	37,700 千円
・現年単独災害復旧費（土木施設）	57,800 千円

○ 特別会計

当初予算総額は、253 億 882 万円でしたが、前年度からの繰越事業費及び補正予算により、9 月末現在の予算総額は 275 億 6,220 万 4 千円となっています。

特別会計の予算状況は、第 5 表のとおりです。

主な補正予算は、つぎのとおりです。

簡易水道事業特別会計

・簡易水道建設費	170,700 千円
----------	------------

公共下水道事業特別会計

・公共下水道建設費（汚水補助）	127,000 千円
・公共下水道建設費（汚水単独）	37,300 千円
・公共下水道建設費（雨水補助）	237,000 千円

国民健康保険（事業勘定）特別会計

・ 財政調整基金積立金	80,765 千円
・ 出産育児一時金	1,960 千円
・ 償還金	1,861 千円

老人保健医療特別会計

・ 償還金	5,268 千円
-------	----------

後期高齢者医療特別会計

・ 後期高齢者医療広域連合納付金	10,330 千円
------------------	-----------

介護保険特別会計

・ 償還金	91,143 千円
-------	-----------

財産区特別会計

・ 総務管理費	11,200 千円
・ 財産管理費	42,000 千円

第5表 予算の状況 特別会計

単位 千円

特別会計名	当初予算額	繰越 明許費等	補正予算額				予算現額
			第1号	第2号	第3号	補正額計	
ケーブルネットワーク事業	89,060						89,060
公共用地先行取得事業	111,990						111,990
簡易水道事業	112,740		201,000			201,000	313,740
港湾事業	142,650						142,650
駐車場事業	65,810						65,810
土地区画整理事業	500,000	145,399					645,399
公共下水道事業	4,080,900	1,255,888	164,300	237,000		401,300	5,738,088
漁業集落排水事業	76,840						76,840
農業集落排水事業	112,550						112,550
小型浄化槽事業	153,700						153,700
国民健康保険(事業勘定)	10,670,570		85,097			85,097	10,755,667
国民健康保険(直診勘定)	92,310						92,310
老人保健医療	38,030		5,268			5,268	43,298
後期高齢者医療	1,190,570	4,759	10,330			10,330	1,205,659
介護保険	7,777,690		91,143			91,143	7,868,833
財産区	93,410		53,200			53,200	146,610
計	25,308,820	1,406,046	610,338	237,000		847,338	27,562,204

(2) 平成 21 年度予算の執行状況

平成 21 年 9 月末日現在の予算の執行状況はつぎのとおりです。

一般会計は、第 6 表のとおり

予算総額	487 億 6,635 万 5 千円	
収入済額	214 億 309 万 4 千円	(執行率 43.9%)
支出済額	189 億 1,112 万 7 千円	(執行率 38.8%) です。

収入済額のうち前年同期に比べて減収となったものは、市税 5 億 2,689 万 1 千円の減、使用料及び手数料 2,166 万 1 千円の減などで、増収となったものは、国庫支出金 20 億 5,409 万 7 千円の増、地方交付税 4 億 2,660 万 7 千円の増、諸収入 2 億 7,705 万 9 千円の増などです。

収入済額の執行率は、前年同期に比べ、3.5 ポイント増の 43.9%となっています。

支出済額の執行率では、前年同期に比べ、3.6 ポイント増の 38.8%となっています。

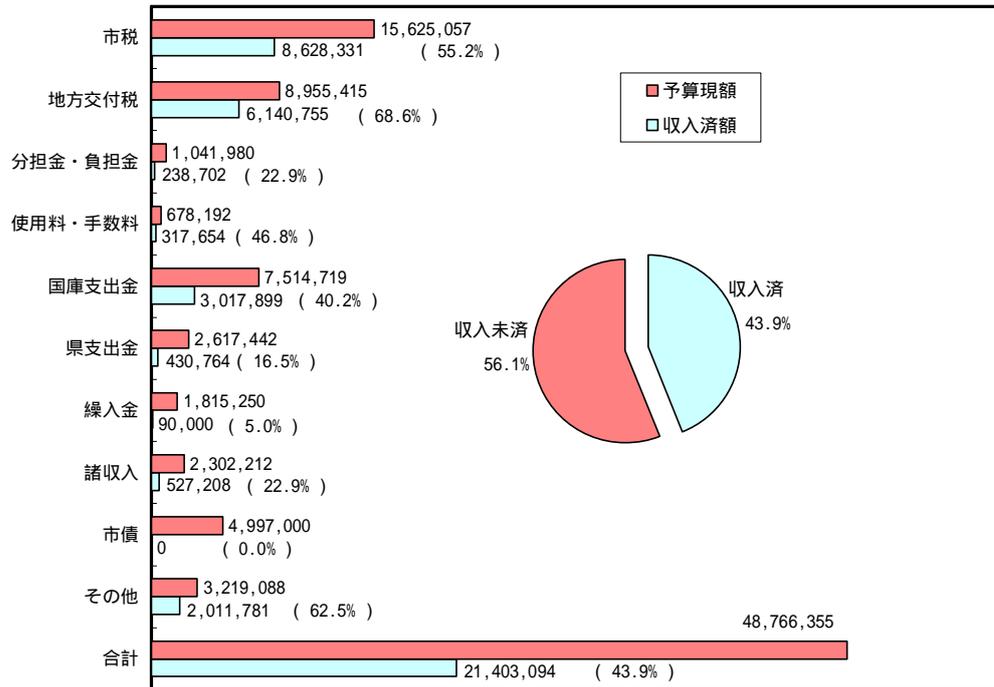
執行率の高いものを目的別にみますと、労働費 99.2%、諸支出金 72.8%、商工費 71.1%、議会費 47.5%、総務費 46.6%、公債費 46.4%、消防費 39.9%、民生費 35.5%、衛生費 33.7%などとなっています。

特別会計(16 会計)は、第 7 表のとおり

予算総額	275 億 6,220 万 4 千円	
収入済額	80 億 7,919 万 8 千円	(執行率 29.3%)
支出済額	104 億 5,687 万 9 千円	(執行率 37.9%) です。

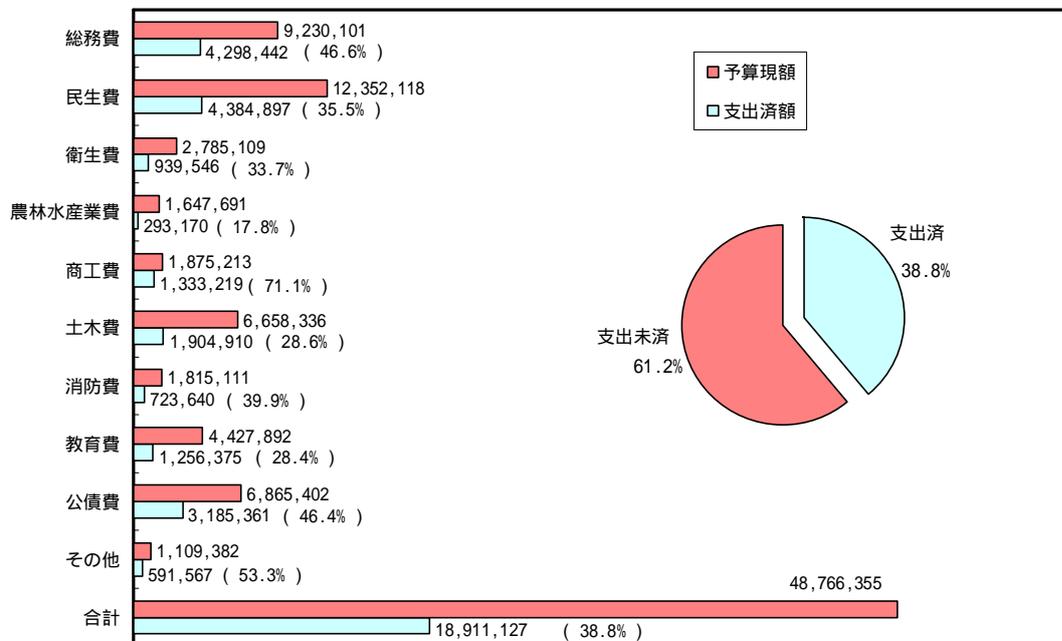
第6表 平成21年度予算の執行状況 一般会計 歳入

平成21年9月末 (千円)



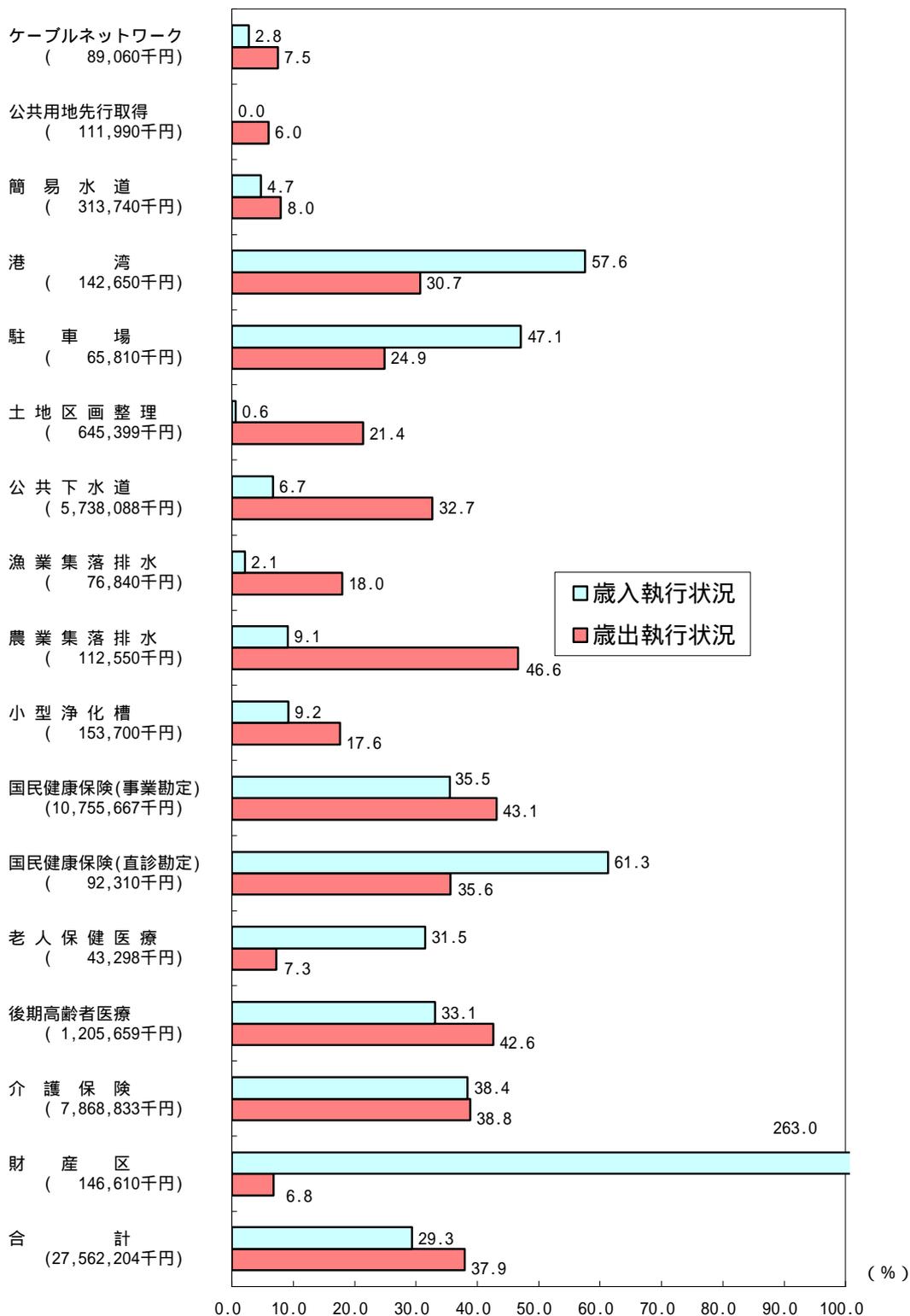
平成21年度予算の執行状況 一般会計 歳出

平成21年9月末 (千円)



第7表 平成21年度予算の執行状況 特別会計

平成21年9月末



市債及び一時借入金の状況について

○ 市債（地方債）

市債は、学校その他の施設、道路・河川などの公共施設の建設や災害復旧などで一度に多額の資金を必要とする事業を実施する場合、その財源に充てるため発行が認められている長期の借入金です。

一般会計の9月末の現在高は、616億1,864万3千円ですが、この償還については、普通交付税に50%程度が算入される見込みです。前年同期に比べて、16億680万6千円の減（2.5%）となっています。

9月末の現在高が増となった特別会計は、簡易水道事業特別会計で3,477万9千円増の4億1,786万円、土地区画整理事業特別会計で4,910万円増の2億1,350万円、公共下水道事業特別会計で3億1,399万7千円増の202億7,634万5千円、小型浄化槽事業特別会計で2,471万8千円増の2億3,249万9千円です。一方、減となった特別会計は、漁業集落排水事業特別会計で1,239万2千円減の3億5,828万1千円、農業集落排水事業特別会計で6,251万6千円減の7億1,881万7千円となっています。公共用地先行取得事業特別会計は、増減がなく11億6,130万円です。

平成21年9月末における全会計の市債現在高は、同年同期に比べて12億5,912万円減の849億9,724万5千円です。

会計別内訳は、第8表のとおりです。

○ 一時借入金

一時借入金は、歳出予算を執行するうえで、一時的な歳計現金に不足を生じたとき、短期の借入れを行ってその不足を補うためのものです。

平成21年9月末の一時借入金現在高は、一般会計、特別会計ともにありません。

第8表 市債の現在高の状況

単位 千円

会 計 名	前年9月末 現在高	前年度末 現在高	本年9月末 元金償還額	本年9月末 借入額	本年9月末 現在高見込	9月末現在高 比較
一般会計	63,225,449	64,229,621	2,610,978		61,618,643	1,606,806
公共用地先行取得事業	1,161,300	1,161,300	0		1,161,300	0
簡易水道事業	383,081	427,515	9,655		417,860	34,779
土地区画整理事業	164,400	213,500	0		213,500	49,100
公共下水道事業	19,962,348	20,618,711	342,366		20,276,345	313,997
漁業集落排水事業	370,673	366,298	8,017		358,281	12,392
農業集落排水事業	781,333	749,155	30,338		718,817	62,516
小型浄化槽事業	207,781	233,560	1,061		232,499	24,718
計	86,256,365	87,999,660	3,002,415		84,997,245	1,259,120

市民の税負担の状況

平成 20 年度決算における市税は、162 億 3,892 万 7 千円で、前年度に比べて 2 億 5,210 万 6 千円の増（1.6%）となっています。

平成 20 年度決算における市民一人当たりの税負担額は、第 9 表のとおり、年税額 15 万 8,831 円で、前年度の 15 万 5,299 円と比べて 3,532 円増加しています。

市民一人当たりの税負担額増加の主な要因は、市民税の個人分が、1,488 円増の 4 万 8,250 円、市民税の法人分が、1,943 円増の 1 万 7,832 円です。

なお、平成 20 年度の税目別の内訳は、第 10 表のとおりです。

第 9 表 決算における税の負担状況

区 分	平成 20 年度決算額		平成 19 年度決算額		比 較	
	金 額 千円	一人当たり円	金 額 千円	一人当たり円	金 額 千円	一人当たり円
市 民 税	6,756,257	66,082	6,449,466	62,651	306,791	3,431
個人	4,933,123	48,250	4,813,847	46,762	119,276	1,488
法人	1,823,134	17,832	1,635,619	15,889	187,515	1,943
固定資産税	7,810,238	76,391	7,816,934	75,935	6,696	456
軽自動車税	223,124	2,182	221,356	2,150	1,768	32
市たばこ税	610,922	5,975	647,156	6,287	36,234	312
特別土地保有税	0	0	797	8	797	8
入 湯 税	19,265	189	20,367	198	1,102	9
都市計画税	819,121	8,012	830,745	8,070	11,624	58
計	16,238,927	158,831	15,986,821	155,299	252,106	3,532

第10表 市民1人当たりの税負担割合（平成20年度決算）

